

事業所名

ヒトウェル西川口教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

8日

法人（事業所）理念	お子様やご家族の悩みに真正面から向き合い、お子様の成長、ご家族の心の健康、笑顔をサポートする。「みんなにあなたかいwelビーイングが実現できる場所」を目指す。				
支援方針	ヒトウェル西川口教室のコンセプトとして「自分を表現する力」「考える力」「他者を理解する力」をひとりひとりの持つ力に合わせながら引き出し、大人主体の療育だけでなく自分からアウトプット出来る機会を増やして行くことで教室で感じた貴重な体験や学びを将来大きくなって生かせるように未来に繋いでいく。				
営業時間	9時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	来所児童が健康で健やかな生活を送れるようヒトウェル西川口教室のリズムを認識できるよう支援していく。具体的な例として、来所から靴を靴箱にしまい、荷物をロッカーに入れて手を洗う。自由時間を1時間もうけて気持ちを整理する時間をつくり始まりの音楽とともに始まりの会が始まるといった活動内容のもとヒトウェル西川口教室での流れを理解し活動時間と自由時間を設けることで活動とリラックスできる時間をつくる。静と動のリズムをつくり心身ともに健康的な時間を過ごせるよう支援していく。また、それぞれの発達にあわせて排泄行為、清潔保持、片付けなどの身辺自立の支援を支援していく。			
	運動・感覚	理学療法士のアセスメントやPT集団活動での支援に加えて、室内運動でのボルダリングやプランコ、バランスストーンを使った支援から体幹の強化や低緊張、過緊張にアプローチした支援をおこなっていく。粗大運動に加えてクッキングや制作活動と通じた巧運動の指先運動、トングやリハビリ粘土を使った手のひら全体の筋力の強化や感覚の統合を行って行く。生活場面に則し自立を促す為の身体機能の評価アプローチを行って行く。			
	認知・行動	それぞれの発達年齢、発達段階に合わせた支援に加えて日々のアセスメントや評価を行ない適宜変化していく支援を組み合わせて提供していく。集団活動において主に小集団で行ない「ルール遊び」「SST」「手順をふまえた調理や制作」を行ないそれぞれの個の実態に合わせた支援を行っていく。それぞれの認知力に合わせて絵カードや手順表を用いて理解できるように支援し理解に躓いてしまうことがあっても支援員にむけて自らの力で発信または、伝えられる手段を支援していく。			
	言語コミュニケーション	言語的、非言語的なコミュニケーションに併せてジェスチャーやサイン、絵カードでの支援員とのやりとりの練習や、本人からの発語や文章での伝え方を支援していく。また、受動的なコミュニケーションに偏らないように本人からのヘルプや気持ちの発信が発語が難しい場合でも伝えられるよう手段の支援をしていく。言葉でのコミュニケーションが出来る児童に関しては衝動的な行動に至る前に言葉による発信が出来るよう一旦気持ちを整理しながら支援員とともに考えていく。SSTにおいてはお互いに質問や言葉でのやりとりを行ない練習を重ねていく機会を作る。			
	人間関係社会性	小集団での関わりを通して他者を理解し感情を共有し制作物や活動における達成感、一体感を感じてもらうよう支援していく。活動時間以外での自由時間では積極的に友達同士で関わってもらい見守り支援を行う。対人トラブルに陥った場合においては支援員が両者の意見を聞き入れながら整理し他者の気持ちを理解してもらうよう関わりを行う。社会性に関しては課外活動にて買い物に出かけることで金銭のやりとりや交通ルールや公共のマナーを学び将来における生活に役立てるよう支援していく。			
家族支援	適宜来所やZOOMにて活動の様子や日頃の悩みや今後の不安を傾聴しながらも近況に感じた成長や感情面での変化について肯定的に関わり家庭においても前向きな関わり的一端となれるようご家族に定期的に言葉かけをして支援していく。	移行支援	将来的な移行やそれぞれのご家族とお子様進路に合わせ支援を考えていく。支援が共通認識出来るよう適宜他事業所や小学校、保育園での連携をはかっていく。		
地域支援・地域連携	途切れることのない支援になるよう必要に合わせて保育園や幼稚園、小学校の見学を行い支援の連携会議を定期定期におこなっていく。モニタリングのタイミングに合わせて定期的な情報収集に努め支援に取り入れ活用していく。	職員の質の向上	定期的な外部研修の実施と社内研修、ケース相談を行って行く。支援感のすりあわせに加え職員間の考えること達の未来について前向きに常に話し喜び高められる環境作りに努めていく。		
主な行事等	季節の行事としてスイカ割り、夏祭り、水遊び、クリスマス会や季節の制作活動、年賀状作り、旬の味覚に合わせた調理実習、今日は何の日？など毎日がそのような意味合いがあるのかを感じてもらおう意識付けをしている。また、課外活動におけるお金の勉強、買い物でやりとり、交通ルールのマナーなどの支援から地域社会での生活力の向上を図る。また、機危険認知力に支援に対してもホットプレートや鍋を用いた調理を行うことで丁寧な危険についての認識をフォローできるようプログラム構成を行っている。				